

特集：SDGs (Sustainable Development Goals) に貢献する 教育システム

持続可能な世界の担い手を育むための学びとは

石井 雅章*

What is Learning to Foster the Agents for the Sustainable World ?

Masaaki ISHII*

This article summarizes the 2030 Agenda, the document in which the Sustainable Development Goals (SDGs) are presented, and the concept of Sustainable Development, which forms the basis of the SDGs. Then, examining the content of the UNESCO-proposed “Education for Sustainable Development (ESD)”, it will be discussed learning to foster the agents for the sustainable world.

キーワード：持続可能な開発，持続可能な開発目標（SDGs），持続可能な開発のための教育（ESD）

1. はじめに

本稿は、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」が示されている文書『2030 アジェンダ』の内容と、その基盤となる「持続可能な開発（Sustainable Development）」の概念を整理し、ユネスコが主導する「持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development: ESD）」を検討したうえで、持続可能な世界の担い手を育むための学びについて論じる。

2. 2030 アジェンダと SDGs

2.1 2030 アジェンダの一部としての SDGs

2015年9月の国連総会で採択されたSDGsは、2030年に向けて国際社会が解決を目指す目標群であり、17のゴールと169のターゲットで構成されていることはよく知られている。一方で、それらが『2030 アジェンダ』（以下、アジェンダ）という文書において示されていることは、あまり認知されていない。

「私たちの世界を変革する（Transforming Our World）」というタイトルに明示されているとおり、

アジェンダのキーワードは変革（transforming）である。これは私たち及びその先達がつくり上げてきた現状の世界が、このままでは持続不可能（unsustainable）であり、個々の問題の個別解決ではなく構造的な変容が求められることを意味している。そして、持続可能な世界の実現のためには、人間と自然、人間と社会、社会と自然、さらには人間同士の相互関係とシステムの変容が不可欠であるとアジェンダは指摘している⁽¹⁾。

アジェンダは、①前文、②宣言、③持続可能な開発目標（SDGs）とターゲット、④実施手段とグローバル・パートナーシップ、⑤フォローアップとレビューで構成されており、私たちがよく目にするSDGsのゴールとターゲットは③に示されている。2030年までに国際社会が達成すべき目標が具体的に示された③のゴールとターゲットはたしかに重要であるが、それ以前になぜこのような目標設定をする必要があるのかについて述べられている①の前文を適切に理解することはさらに重要である。

2.2 2030 アジェンダの前文

全35ページ（日本語仮訳は36ページ）にわたる

* 神田外語大学言語メディア教育研究センター (Language, Media Learning Research Center, Kanda University of International Studies)